

# 潮騒

私たちと自然は、現在に至るまで密接に関係し合ってきましたが、表浜地域の自然は徐々にその姿を変え、力強さを失いつつあります。

表浜の自然環境のありがたさをいつまでも忘れず、そして、その未来に心を寄せ続けることが、私たちにできる第一歩ではないでしょうか。

## CONTENTS

- ◆特集①「表浜ほうべの森(田原市谷ノ口公園)」
- ◆特集②「ほうべの『いま』～浜・崖森を守る～」
- ◆田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の概要
- ◆田原市東部太平洋岸地域整備基本計画(アクションプラン)
- ◆表浜風土記「ボランティアを通じて」(あいくるボランティア 代表 宮下元夫さん)
- ◆平成29年度事業計画



【第19号の表紙】ザ・海鳴 ほうべの森祭

平成29年4月に供用開始となった「表浜ほうべの森(田原市谷ノ口公園)」のオープン記念で、「ザ・海鳴 ほうべの森祭」が9月23日(土)に開催されました。マイク眞木さんをはじめとした音楽演奏やライブペインティング、Shammy's café(シャミーズカフェ)などのフード&ドリンク、フリーマーケットやキヌ釣り大会など盛りだくさんで、夜遅くまで多くの人で盛り上がりました。表浜ほうべの森ではたくさんのテントが立ち並び、参加者は自然を存分に楽しみ、笑顔溢れる1日となりました。

## 表浜ほうべの森(田原市谷ノ口公園)

東部太平洋岸に位置する神戸町・谷ノ口地区にある、田原市谷ノ口公園。  
この公園は「表浜ほうべの森」の愛称で地元の方に親しまれ、  
今年度の4月1日にオープンしました。  
第19号では、特集記事としてご紹介します。

## 谷ノ口公園管理委員会 会長 福井公雄さん

田原市谷ノ口公園がなぜできたのか。

田原町時代の平成13年12月、田原町太平洋岸総合整備促進協議会から谷ノ口地区が海浜拠点整備のモデル地区に選ばれ、拠点整備事業の計画作りをおよそ1年間かけて行いました。協議会の事務局である企画課をはじめとした関係課による会議が月におよそ2回行われ、その際に出された課題を解決するために谷ノ口地区の住民で週に2回から3回のペースで会議を繰り返し行いました。

平成14年5月には「谷ノ口総合整備促進協議会」が発足、翌年には国土交通省から全国各地で活躍されている3名の地域振興アドバイザーの派遣を受け入れ、谷ノ口地区における課題を地域振興策に変換する具体的な検討が始まりました。最終として谷ノ口地区振興策を立案するために、区民全員が5つの部会に分かれて、ワークショップ形式で連日連夜、議論を重ねました。地域振興アドバイザーは、「できることから始めよう」と私たちだけでは気付かないことや問題の糸口さえ見当たらないことに対して的確にアドバイスをいただき、その効果はすぐに目に見えるほどでした。

拠点地区づくりの構想ができあがり、まずはじめは道路整備に取り組みました。用地買収では多くの地権者の方々に整備事業のご理解・ご協力をいただき、無事にスタートを切ることができました。自分たちにできることは何かを考えた中で、農村地域を活かした産直を行う案が浮かび、アドバイザーの「壊そうとしている谷ノ口公民館の横の倉庫は、味があって非常に良い。産直をやるのに適している。」という助言により、役員総出で整備を始め、出来上がったのが農産物の直売所「ええZONEマーケット」です。毎週日曜日の午前で開催し、盛況な日は400名の方がきてくれて、一つの成果が出て喜びを感じています。他にもええZONE農園、谷ノ口公園や沿道花壇の整備、地引網と様々な活動に取り組んでいます。メンバーのほとんどがボランティアで、それぞれが「自分たちがやらなければ何も変わらない」とモデル地区としての使命感をしっかりとって取り組んでくれているおかげで、今があると思います。

今年から谷ノ口公園は「谷ノ口公園管理委員会」が指定管理を受けて管理・運営を行っています。経験のないメンバーが集まり、試行錯誤しながら、まずはトラブルなく運営出来るかということに挑戦しています。勤務体制が日替わりのため、報告や連絡や連絡帳一つで対応するなど手さぐりですが、当番の方は誰もが責任者であるという自覚をもって、全力で対応していただいています。本当に頭の下がる思いです。

現在、時期を問わず多くの方に谷ノ口公園を利用していただいています。今のままではいつか利用者が飽きてしまうのではないかと危惧しています。谷ノ口公園はまだまだ始まったばかりです。谷ノ口区の住民が気軽に遊べる憩いの場となるのはもちろん、今後はさらに収益事業を増やし、夢のある公園になるよう努力していきます。谷ノ口公園はもともと地元民の生活の地であり、思い入れも強いです。谷ノ口公園での事業を中心としてそれぞれの活動を集約し、後世に繋げることが、豊かで住み良いまちづくりにつながると考えています。これからも皆さまから愛される公園を目指して取り組んでいきますので、ぜひ足を運んでいただき、応援をよろしく願いいたします。



# 表浜ほうべの森(田原市谷ノ口公園)が4月1日にオープンしました!

表浜ほうべの森は、谷ノ口地区の住民で組織された「表浜ほうべの森準備委員会」によって、平成18年から地道に整備を進めてきました。平成21年に工事の設計を行い、平成24年から管理棟や園地の整備、そして昨年の平成28年には駐車場の砕石設置と多目的ホールを整備しました。そして、平成29年4月1日にオープン。豊かな自然に囲まれ、キャンプやバーベキュー、ピザやパンを焼ける石窯を楽しむことができ、ゴールデンウィークには100名を超える多くの方で連日賑わいました。表浜海岸のすぐ近くに位置し、耳を澄ませば波の音が聴こえます。公園内は木々がたくさん生い茂り、緑の芝生が一面に広がります。子どもから大人まで、みんなが楽しむことができる憩いの場。そんな表浜ほうべの森へ、ぜひ訪れてみてください。



東屋

多目的ホール



太平洋が一望できる



ピザ窯



調理場・炉

## 表浜ほうべの森の利用案内

- 場 所** 田原市南神戸町南中島1  
**営業時間** 午前9時～午後5時  
**休業日** 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月28日～1月4日)  
**利用方法** 公園内の施設(コインシャワーを除く)を利用する場合は、利用日の半年前から前日までに予約が必要。  
 ※ファックスの場合は利用日の3日前まで  
**予約先** 谷ノ口公園管理委員会(表浜ほうべの森管理棟)  
 TEL: 0531-24-8901 / FAX: 0531-24-8902

## 施設利用料金

- 野営場……………無料  
 会議室……………300円(1時間)  
 多目的ホール ……1,000円(1時間)  
 炉(炊事棟) ……300円(1日・1炉)  
 かまど ……400円(1日・1基)  
 ピザ窯 ……1,000円(2時間・1基)  
 テント ……300円(1回・1張)  
 コインシャワー ……100円(1回)

# ほうべの『いま』～浜・崖森を守る～

昔から私たちを見守ってくれている大切な場所。自然と触れ合うことができる貴重な場所。そんなほうべは、美しい姿を見せる一方で、実は、悲鳴をあげ続けているのです。改めて、ほうべについて考えてみませんか。

ほうべとは  
地元の人たちが親しみを込めて呼ぶ言葉で、  
表浜の海岸沿いの砂浜と崖森一帯のことをいいます。

## ほうべの海食(侵食)

渥美半島の台地は、今から60万年から2万年ほど前に、主に天竜川方面から沿岸流で運ばれた砂れきが浅い海底に堆積し、日本列島を南から北へと押し上げるフィリピン海プレートの力によって隆起し形成されました。柔らかなまみ砂の地層は、台風時の激しい風雨や、高波による浸食や地震による崩壊によって削り取られ、現在の崖を形成しました。

また、厳しい自然の洗礼とともに、供給源となる河川からの流下土砂や、海食崖の崩壊による砂の減少等が相まって、現在も海岸線の後退が進んでいます。過去の文献に記載されている海食崖の崩壊や、古地形図から比較類推すると、大きなところでは数百mの海岸線の後退が生じていると考えられています。



大雨などによって崩落した崖森(南町海岸)

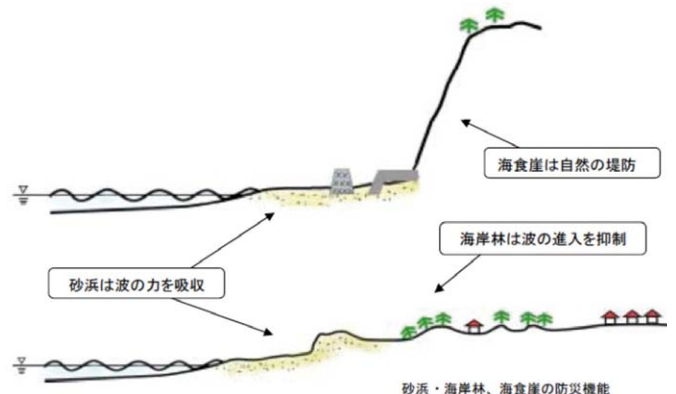


侵食が進む現在の砂浜(東ヶ谷海岸)

## 砂浜・海岸林・海食崖の防災機能

砂浜は、波のエネルギーを吸収し、波浪や津波による背後への影響を軽減する重要な防災資源です。また、海岸林は、防潮、飛砂防止、防風、防霧などの災害防止機能を有しています。そして、海食崖は、海岸に迫る陸地の突出部が波の激しい侵食によってできた切り立った崖のことで、自然の堤防です。

これらは風水害からの天然の防護の役割を果たしており、あらゆる営みの生命線だといえます。



## ほうべを侵食から守るために

近年頻繁に発生している台風や大雨などの自然災害に対応するため、表浜海岸では様々な海岸保全施設の整備が進められています。台風や地震などによって崩壊、または荒れた斜面を元の豊かな森や傾斜地に戻すため、保安林の保全を目的とした治山事業を行っています。愛知県では、昭和35年から、海食崖前面の侵食による崖崩壊への対策として、消波堤や傾斜護岸の整備を進め、砂浜を維持・回復することを目的として、景観にも配慮した離岸堤や人工リーフの整備が行われてきました。

### 海岸保全施設の整備

参考資料：遠州灘沿岸海岸保全基本計画(静岡県・愛知県)

#### 傾斜護岸

海岸線の崩れや高波、高潮、津波の侵入を防ぎます。



浜田海岸

#### 消波堤

水際付近に設置し、波の勢いを弱めます。昭和40年から整備が開始され、全線に渡り整備が完了しています。



浜田海岸

#### 治山

台風や地震などによって崩壊した斜面を元の森や傾斜地に戻します。東部太平洋岸地域では現在8箇所の要望をしています。



大草海岸

#### 離岸堤

海岸線と平行に陸から離れた沖に設置し、波の勢いを弱めます。



イメージ(若見海岸)

## 私たちにできること

かつて表浜海岸は、大人や子どもたちが漁をしたり、安心して遊ぶことのできる場所がいくつもありましたが、その場所も海岸侵食などによって私たちの記憶から消えつつあります。同時に、海岸が防災機能を発揮して私たちを自然災害から守ってきた能力も、少しずつ失われつつあります。

このような表浜海岸の変化は、日常生活の中で当たり前にある海岸の重要性を忘れ、その存在を意識しなくなってしまったことも原因のひとつだと思います。

雄大で美しい表浜の自然環境を次世代につなぐこと。これは、今を生きる私たちに与えられた大切な役目です。表浜地域の自然環境のありがたさをいつまでも忘れず、そしてその未来に心を寄せ続けることが私たちにできる第一歩ではないでしょうか。

## 「みんなで考え・行動する地域づくり」

# 田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の概要

### ■会長あいさつ

#### 田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会 会長 村上 誠

本協議会は平成8年の発足以来21年目になります。六連・神戸・大草そして田原東部の4校区が主体となり、田原市の協力をいたがきながら、自立した地域活動を歩み進めてまいりました。

平成13年に最初の海浜拠点整備地区として「谷ノ口海岸」が選定され、「谷ノ口総合整備促進協議会」の設置、「ええZONEガーデン整備計画」で地元住民と行政との意見・提案等を集約検討しました。

そして、平成16年11月にええZONEマーケット開設、平成17年3月に谷ノ口地区整備基本計画が策定され、表浜ほうべの森の整備に着手し、平成29年4月に供用開始となりました。

また、平成29年3月には、田原市東部太平洋岸地域整備基本計画（アクションプラン）を策定しました。今後協議会はこの基本計画に沿って、向こう10年間事業を進めていきます。

協議会全体としても、同じ海岸環境を持つ地域との連携をとりながら、行政と一体となって海岸侵食対策、地震対策等に取り組むとともに、太平洋岸地域の快適で住みよい環境整備が実現できるよう活動していきたいと思っております。



### 今後の協議会の取り組み

- ・太平洋岸の魅力を発信するイベントの開催
- ・海浜・崖森・農地エリアのエリア別の整備促進
- ・渥美半島全体の連絡調整
- ・関係機関への要望活動等の展開

### ■協議会組織（平成29年10月現在・順不同）

|     |  |   |
|-----|--|---|
| 役員  | 会長   | 村上誠(田原東部コミュニティ協議会長)                                       |
|     | 副会長  | 安田一正(六連コミュニティ協議会長)、牧野京史(神戸コミュニティ協議会長)、寺田幸弘(大草コミュニティ協議会長)  |
| 委員  | 市議会議員  | 仲谷政弘、赤尾昌昭、河邊正男、大竹正章、彦坂久伸                                  |
|     | 漁業関係者  | 富田實(愛知外海漁業協同組合理事)、太田行彦(愛知外海漁業協同組網元代表)                     |
|     | 市農業委員  | 大羽秀敏、鈴木和徳、三浦和寿、木下和洋                                       |
|     | 市役所  | 鈴木正直(副市長)、大羽耕一(産業振興部長)、山内義晃(建設部長)、岡田利幸(都市整備部長)、大根義久(教育部長) |
| 顧問  | 山下政良(田原市長)、山本浩史(愛知県議会議員)、高瀬与志彦(愛知みなみ農業協同組合代表理事組合長) |   |
| 事務局 | 田原市役所企画部(企画課)                                      |   |

## ●表浜自然ふれあいガーデン 実現に向けてのこれまでの動き

### ハード事業

#### ◆海岸整備(県事業)

◇海岸保全事業(傾斜護岸)：百々海岸(H19)、離岸堤調査・工事(豊橋田原海岸) ◇海岸治山事業：8箇所要望中

#### ◆拠点地区の整備促進(市事業)

- ◇公衆便所整備事業：谷ノ口海岸(H9)・大草海岸(H10)・百々海岸(H11)・東ヶ谷海岸(H13)
- ◇海岸駐車場事業：大草海岸(H11)・百々海岸(H12)
- ◇道路整備事業：南谷ノ口1号線改良(H15)・寺前上り口線拡張(H16～H18)・高畑谷ノ口線改良(H17)・谷ノ口海岸線拡張(H17～)・R42公民館前交差点改良(H18～)
- ◇公園整備事業：表浜ほうべの森整備(H18～)
- ◇観光地維持管理事業：浜田海岸レンタルトイレ1基設置(5月～12月)(H29)

### ソフト事業

#### ◆表浜自然ふれあいフェスティバル(協議会事業)

◇メイン海岸：H10谷ノ口・H11大草・H12百々・H13東ヶ谷・H14大草・H15百々・H16分散開催・H17大草・H18百々・H19東ヶ谷・H20大草・H21百々・H22東ヶ谷・H23大草・H24百々・H25谷ノ口・H26谷ノ口・H27大草・H28谷ノ口

#### ◆表浜のレクリエーション

- ◇健康ウォーキング大会(市教育委員会)：H10東ヶ谷・H11大草・H14谷ノ口・H15百々・H17百々
- ◇ふれあいウォーキング大会(六連青少年健全育成)：H13六連海岸

多額の予算を必要とする海岸保全事業の継続的な実施には、国土保全・防災面に加え、表浜海岸の持つ多面的価値の創造を行い、投資効果の向上を図る必要があります。

## ●農地エリアの整備 実現に向けてのこれまでの動き

### ハード事業

#### ◆農村・農地の整備(市事業)

- ◇農村振興総合整備事業：神戸地区(H12～H16)・大草、高松地区(H18～)・田原東部地区(H19～)
- ◇農用地基盤整備事業：谷熊新田排水対策(H20～H26)
- ◇農地・水・環境保全向上対策(H19～H25) ◇多面的機能支払事業(H26～)

### ソフト事業

#### ◆農地基盤に関する実態調査(市事業)

◇農地基盤再整備に関する調査：H11表浜全域

道路・排水・農地区画・ため池などの農業基盤に加え、集落環境を含め総合的な整備促進を図ります。

# 田原市東部太平洋岸地域整備基本計画 (アクションプラン)を策定しました!



## ○アクションプランとは?

平成9年に策定した田原町太平洋岸地域整備基本構想「サングリーン21」と、平成10年に策定した田原町太平洋岸地域整備基本計画(※)を変わることのない理念・骨格として継続しながら、主に短中期で何を取り組めばいいのかを整理したものです。社会動向や東部太平洋岸地域の現状や課題、田原市総合計画やまちづくり推進計画などの関連する諸計画を考慮し、実現可能なプランとして再構築したものです。

※目標とする地域像を「表浜自然ふれあいガーデン」と設定しています。

## ○計画期間

10年間(平成29年度～平成38年度)

### 1 表浜健康海浜プラン

| 取組項目                  | 内容  | 取組期間 |
|-----------------------|---|------|
| PRイベントの再構築            | 表浜自然ふれあいフェスティバルのあり方を検証し、リニューアルや別イベントへの移行等について検討します。             | 短期   |
| 表浜ほうべの森(田原市谷ノ口公園)活用促進 | 表浜ほうべの森(田原市谷ノ口公園)の早期完了を図り、管理運営体制を確立するとともに、協議会の拠点施設として利用促進を図ります。 | 中期   |

### 2 表浜自然保護・観察プラン

| 取組項目             | 内容                                       | 取組期間 |
|------------------|--|------|
| 表浜地域づくり情報誌「潮騒」発行 | 協議会の主要事業として、引き続き東部太平洋岸地域の情報を広く市内外に発信します。 | 全期   |

※(再掲)PRイベントの再構築、表浜ほうべの森(田原市谷ノ口公園)活用促進

### 3 表浜自然体験の森プラン

| 取組項目   | 内容                                 | 取組期間 |
|--------|------------------------------------|------|
| 有害鳥獣対策 | 効果的なイノシシ対策に取り組み、森林や農地の安心安全を向上させます。 | 全期   |

※(再掲)表浜ほうべの森(田原市谷ノ口公園)活用促進

### 4 表浜保養・療養プラン(タラソテラピー施設の整備等)…社会経済情勢が変化し実現可能となるまで凍結とします。

### 5 表浜農漁業体験プラン

| 取組項目         | 内容   | 取組期間 |
|--------------|--|------|
| 地引網の継承       | 地域文化として、また観光資源として重要な地引網の継承を図ります。   | 全期   |
| 農業体験ツーリズムの促進 | 東部太平洋岸エリアの表浜ほうべの森や観光施設、農産物直売所、農園、飲食店などが連携し、来訪者のおもてなし体制を向上させるとともに、相乗効果により「ファン」や「リピーター」の獲得を図ります。 | 全期   |

### その他重点的な取組

| 取組項目         | 内容   | 取組期間 |
|--------------|--|------|
| 海岸保全施設等の整備促進 | 海岸侵食対策等の海浜保全、渥美半島特有の貴重な自然環境の保全のため、崖森の崩落防止及び海岸侵食対策の促進を図ります。           | 中期   |
| 海岸進入路の保全     | 海岸の保全と活用のため海岸進入路の適切な管理を行います。   | 全期   |
| 海岸の適正利用      | 海岸の利用に際し、地震等の自然災害発生時を日ごろから意識するとともに、砂浜や崖森を地域の財産として後世に残すため、適切な利用を促します。 | 全期   |
| 集落間ネットワークの向上 | 表浜海岸地域の農村生活環境の整備を促進するため、地域間の連携強化により事業の促進を図ります。                       | 全期   |

◇取組期間…短期=3年以内 中期=6年以内 長期=10年以内 全期=毎年

# 表浜風土記 Interview

## 「ボランティアを通じて」

### あいくるボランティア 代表 宮下元夫さん

トヨタ自動車「田原企画ボランティア」は、田原工場が遠隔地で豊田地区のボランティアに参加しにくく、田原工場にボランティアサークルをつくりたいという多くの声から、トヨタボランティアセンターと工務部総括室が協力して、1996年に設立されました。緑化まつりや福祉のつどい等に参加し、2005年には『あいを捧げればあいが戻ってくる』の意味で「あいくるボランティア」に名称を変え、活動の幅を広げました。

表浜自然ふれあいフェスティバルに参加したきっかけは、初めてのボランティア企画「海亀を守ろう」の大草海岸清掃でした。田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会がフェスティバルで海岸清掃を実施していることを知り、地域とタイアップして活動したいという思いから、2003年から毎年参加しています。フェスティバルでは地域の方が特産鍋やピザなどを振舞ってくれ美味しくいただいています。海岸清掃をして器やお箸のゴミが出てはいけないのではという思いから「マイ箸・マイ器・マイカップ」を提案し、今でも実施いただいています。

フェスティバルに参加して何よりも感じていることは、雰囲気の良いことです。地域の方々、東部中学校、サーフィン協会、消防団など、多くの人が地元に着意を持ってイベントに携わり、一つのことを成し遂げようと懸命に、でも和気あいあいと取り組む姿を見て、このイベントは後世へしっかり繋いでいかないといけないと感じました。表浜海岸の現状を知り、美しい景観を守り繋ぐことはもちろん大切ですが、フェスティバルを通じての地域のつながりも大切にしていきたいです。フェスティバルがますます素晴らしいイベントになるよう協力させていただきますので、これからもよろしく願いいたします。



善意銀行フェスティバルでは豊橋東高校の生徒とコラボしました



あいくるといえば大判焼き！地域の評判も上々です

## 平成29年度事業計画

### ■ 主要事業

#### 第20回表浜自然ふれあいフェスティバル

日時 ● 平成29年12月2日(土) 午前9時～午後0時30分  
※悪天候の場合は、平成29年12月3日(日)に延期

場所 ● 久美原～大草の表浜一帯  
※親睦会場は表浜ほうべの森(田原市谷ノ口公園)

内容 ● 海岸清掃、地引網(予定)、フライングディスクゴルフ、お楽しみレクリエーション、地元の食材の豚汁や石窯ピザなどの無料提供ほか

目的 ● 表浜海岸の魅力、海岸侵食などの現状を広くPRすることで海岸整備の促進を図る

※フェスティバルの内容は、変更になる場合があります。

### ■ 主な推進事業

**農村総合整備事業**:田原市産業振興部農政課  
[大草・高松地区、田原東部地区]

**多面的機能支払事業**:田原市産業振興部農政課  
[六連・神戸・大草・田原東部各校区]

**海岸治山事業**:愛知県東三河農林水産事務所

**海岸保全対策**:愛知県東三河建設事務所

**森林公園整備**[谷ノ口地区]:田原市都市整備部街づくり推進課

## 第19回 表浜自然ふれあいフェスティバル

昨年開催

H28  
12.3  
開催



天候に恵まれ、快晴の下で開催された第19回表浜ふれあいフェスティバルは、約1,500人が参加しました。久美原海岸～大草海岸までの一帯で海岸清掃を行い、メイン会場の谷ノ口海岸では、地引網と津波避難訓練を実施しました。12月の開催でしたが暖かく、地引網では多くの魚が採れ、魚をもらう人で列ができました。

親睦会場となった表浜ほうべの森では、フライングディスクゴルフ大会が盛り上がったほか、各校区の方々で作った、地元の農産物を使った豚汁や石窯ピザなどを味わいながら、参加者は交流を深めました。

★表浜地域づくり情報誌「潮騒」や「協議会活動」に対するご意見・ご要望・ご感想をお寄せください。

【発行】田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会(事務局:田原市役所企画部企画課) 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 TEL0531-23-3507

この冊子は再生紙を使用しています。